

## 報告文 業務表彰受賞について

令和元年度北海道開発局優良工事等（業務）表彰において、2業務の局長表彰の受賞ならびに1業務の部長表彰を受賞しました。日頃ご愛顧いただいております関係各位の皆様に厚く御礼申し上げます。

### ■北海道開発局優良工事等（業務）表彰 局長賞

『豊平川河床低下対策検討業務（札幌開発建設部）』

管理技術者 清家 拓哉

『一般国道38号富良野市布礼別橋耐震補強設計外一連業務（旭川開発建設部）』

管理技術者 塩原 龍法

### ■北海道開発局優良工事等（業務）表彰 部長賞

『興部道路事務所管内 道路交通安全対策設計業務（網走開発建設部）』

管理技術者 石川 由憲

## 編集後記

今年の書き出しも「災害」になりました。8月28日、九州北部は記録的な豪雨に見舞われ、佐賀県武雄市では有明海に注ぐ六角川の氾濫で大きな被害が発生しました。続く9月9日の台風15号、9月23日の台風17号では、関東地方や九州地方で強風による被害に加えて大規模停電が発生しました。そして、10月12日に上陸した台風19号は、東日本の16都県に記録的な大雨をもたらし、堤防決壊は国や県の管理する71河川、135箇所に及びました。現時点で、人的被害は死者80名、行方不明者11名に及ぶ大災害であり、未だ被災の全容は明らかになっていない状況です。

近年、わが国では、これまでに経験したことのない予想を遥かに超える災害が発生しています。国土の強靱化を推し進めるとともに、自分の身は自分で守ることが大切になっています。

さて、弊社では平成30年に新たに「㈱開発工営社経営戦略」を制定し、さらに「中期経営計画」を定めたところですが、その中で、多様なニーズに対応するため、さまざまな取り組みを行っています。とくに、市町村への対応として、公共施設等総合管理計画及び長寿命化計画、人口ビジョン、まちづくり計画などに加えて、鉄道施設の撤去、ゴミ焼却施設の解体など、これまで手掛けていなかった新分野にもチャレンジしています。少子高齢化の時代を迎え、市町村ではインフラの見直しを進めており、弊社においてもこの分野で少しでもお役に立てたら、という思いで取り組んでいます。また、グリーンインフラ、SDGsについても、情報収集を行い知識を深めたいと考えています。弊社は、刻々と変化する時代に「未来創造企業」として、北の大地の豊かな社会づくりに挑戦していきたいと考えています。

弊社「NOTE KOEI」は、発注機関関係者様のご理解とご協力の下、1年に1度、業務成果の取り組みについて紹介させていただいています。弊社にとりまして、執筆者にとりまして、業務を通して多くのことを経験し学ぶことになり、それが結果として「力」になって参ります。関係者の皆様に、改めて心より御礼申し上げます。次第です。

(常務取締役・社内技術士会会長 野々村清隆)